

ワンテーマディスカッションを開催しています

町民の皆さんが積極的に町政運営に参画する仕組みとして、町長自らが町民の皆さんのところに出向き、自由な雰囲気の中でひざを交えて話し合いを行い、町民の「声」を聴く意見交換会「町長と意見交換会（ワンテーマディスカッション）」を実施しています。4月から9月までに開催された意見交換会は表のとおりです。



▲7月13日 東三蒲での意見交換会の様子

No	開催日	場所	テーマ
1	7月1日	浮島	今後の離島振興について
2	7月13日	東三蒲	町の歴史と地方創生について
3	9月27日	橘	保育行政について

■問い合わせ 政策企画課 広報情報統計班
☎0820 (74) 1007

地域にひろがる見守りの輪
電動カー利用者支援のシステムがスタート

これまで一部の地域で、電動カー利用者の登録がされていましたが、新たに周防大島町民生委員児童委員協議会では、町全域で電動カー利用者支援のシステムをスタートしました。

同システムは、電動カー利用者の住所や氏名、緊急連絡先などを登録し、車体ナンバーを設置する取り組みです。

ナンバーは、利用者の住所に従って計12の地区に分けて標記されており、高齢者の事故や急病などに素早い対応ができると期待されています。

現在、民生委員とケアマネジャーが利用者を調べ、150台が登録されていますが、新たに購入等で登録を希望される方は、担当地区の民生委員か福祉課にご連絡ください。

■問い合わせ 福祉課
☎0820 (77) 5505



先日、柳井総合庁舎で行われた「元気創出！どこでもトーク」（地域懇親会）に参加させて頂きました。これは地域の様々な分野で活動されている方々が集まり、村岡知事と自身の取り組みや意見を交換する場です。近隣の柳井市、平生町、上関町等から栽培漁業センターの事務局長さんや消防団の副団長さん、柑橘栽培農家さんなど合計10名が参加されました。おそれ多くも私もその中に加えて頂き、定住促進協議会で行っている移住希望者向けのツアーや空き家調査の活動について報告しました。

印象的だったのは周東総合病院地域医療福祉連携室長さんのお話です。お話の中で「どこで人生の最後の時を迎えるか、死ぬ場所の選択」について触れられていました。私にとって今まで向き合おうことがなく、正解がない問いなのですぐに結論は

地域おこし協力隊員 山崎千寿の
しましまタイムズ
SHIMASHIMA TIMES

9

周防大島町定住促進協議会
☎0820 (74) 1007



▲柳井地域で活動されている方々から意見を聞く村岡知事（奥）

出そうにありませんが、現場の方の生の声を聞くことでよりリアルに感じられ、新しい物事を考えるよいきっかけになりました。

「どこでもトーク」は山口県各地で、今まで大学生や介護職員の方、県内の地域おこし協力隊等と実施されています。皆さんの課題や意見を知事に直接伝えることで地域の方々の想いが行政に届き改善に向かうことを願います。

さて、次回の海掃除は10月29日(土)午後5時から立岩海水浴場で行います。島時々半島ツアーの参加者さんも一緒にゴミ拾いをするのでみなさんに大島のことをご紹介頂けたら幸いです。